



ノーマン・フォスター卿が建築設計した新館の優美な曲線がクラシカルな本館をぐるりと取り囲んでいる



正面エントランス車寄せ。クラシカルな本館建物に近未来的なデザインのキャノピーが不思議とマッチする



ヒーリングスポットとして有名なセドナを拠点に活躍するシルヴィア・セピーリ女史が担当した「Dolder Grand Spa」



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健剛代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

ザ・ドルダー グランド ホテル The Dolder Grand Hotel

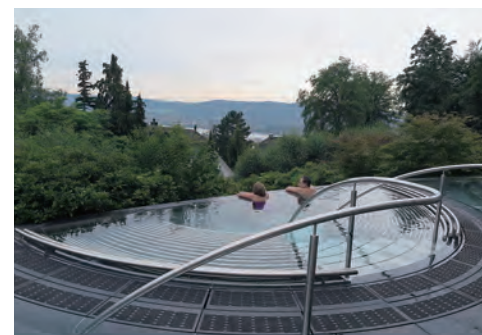
www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載

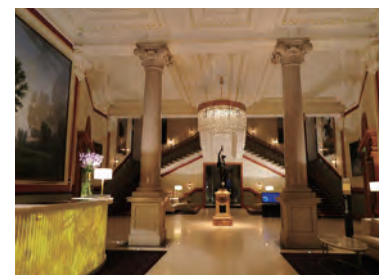


まるで物語に出て来るような古城をイメージさせる「The Dolder Grand」の全景。スイス連邦屈指の名門ホテルで、チューリヒの街と湖を見下ろす高台に建つ壮麗なホテルである



オープンエアのジャグジーからは遠くチューリヒ湖が望める

創業当時のクラシカルな雰囲気の残る華麗なステアケース



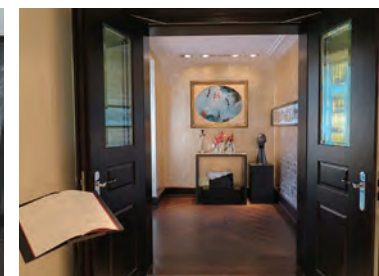
本館エントランスホール。創業当時の古典的な外観や繊細な内装のディテールなど可能な限り保存した



伝統とモダンを調和させた気品あるインテリアで統一したロビーラウンジ



本館から新館を結ぶ回廊は展示品が並び、洗練されたアート感覚が魅力である



ミシュラン2ツ星を獲得したメインダイニング「The Restaurant」のエントランス



新館にある「Double Rooms Deluxe」。約45㎡の広さがあり、ウッドで仕上げた床面が新鮮で、緑豊かな森に面したバルコニー付きの清々しい客室だ



アーバンコンテンポラリー感覚の機能的なベッドルーム。独立した大きめのバススタブを設置したスタイリッシュなバスルーム

スイス連邦屈指の名門ホテルで、チューリヒの街と湖を見下ろす高台に建つ壮麗なホテルが「The Dolder Grand」である。1899年にラグジュアリーなクアハウスリゾートとして創業してから長い伝統を誇る、チューリヒを代表するランドマークホテルだ。森に囲まれた高級住宅街の閑静なロケーションに、多くの塔を昔のままに残した古城を思わせるクラシカルな本館と、スタイリッシュなデザイン構成の新館から成るホテルは威風堂々とそびえ立っている。

ドルダーグランドは2004年からホテルをクローズし、4年もの歳月をかけて大規模な改修工事を施した後、08年4月にグランドオープンを迎えた。建築設計を担当したのは、プリツカー賞を受賞した英国人のノーマン・フォスター卿が率いる「Foster+Partners」。あのシンガポール・セントーサ島の「Capella」を担当し、曲線の魔術師と言われる著名な建築家だ。新館を構成する優美な曲線がクラシカルな本館をぐるりと取り囲んでいる。また、本館メイン棟は創業当時の古典的な外観や繊細な内装のディテールなど可能な限り保存し、完全リニューアルを果たした。

ドルダーグランドはスイートを含め全176室のゲストルームを擁し、まるで物語に出て来るような古城をイメージさせる本館建物が印象的だ。館内は伝統とモダンを調和させた気品あるインテリアで、新館とを結ぶ回廊は洗練されたアート感覚が魅力である。筆者にアサインされた部屋は、新館にあるアーバンコンテンポラリー感覚の「Double Rooms Deluxe」で、約45㎡の広さがあり、緑豊かな森に面したバルコニー付きの客室だ。メインダイニング「The Restaurant」は、名画が飾られた雰囲気の中、本格的フランス料理を堪能できるミシュラン2ツ星のレストランである。オールデイダイニング「Garden Restaurant」は、チューリヒの街を望めるテラス席がお勧めだ。また、ヒーリングスポットとして有名なセドナを拠点に活躍するシルヴィア・セピーリ女史が担当したスパ「Dolder Grand Spa」は、欧州と日本のスパ要素を取り入れた独自のスタイルで、総面積4000㎡というゴージャスな施設である。

驚くかもしれないが、ドルダーグランドは専用のケーブル軌道を保有し山麓とホテルのある高台を結んでいる。広大な敷地に伝統の本館とスタイリッシュな新館が融合されたホテルは実に機能的で美しい。100年以上前の建物を徹底的に修復し、近未来的な新館を何の違和感もなく増設して現代のニーズに適合させる。まさに日本のホテルリニューアル事業に大きなヒントを与えるぜいたくな提言と言える。

世界のリーディングホテルから厳選
ホテルジャーナリスト
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ
3,000円(本体価格)

www.obtapub.co.jp/worldhotel/

